

～日本とハワイをつなぐKZOO～



長寿番組『心に光を』支援者大会 人気アナと8人の牧師が顔出し!大集合

今年、開局60周年を迎えるKZOOラジオ。全米で唯一、24時間日本語による放送を続けるラジオ局だ。日系2世3世の方など、日本語の読み書きは少々おぼつかないけれど、日本語を聞くこと話すことなら得意というリスナーは多く、毎日欠かさず聞いている愛聴者は多い。また近年は、WEBからも聴けるとあって、世界各地の新たな日本語リスナーを増やしている。

そんなKZOOの長寿番組として知られる『心に光を』は、毎週月曜日から金曜日の5日間、午後2時45分から3時まで放送されている、ハワイ日本語キリスト教会連合のミニストーリー番組だ。

オンエアーは、連合に加盟している8つの日本語教会の牧師らが、週ごとに交代で担当。聖書や身近な話題の中から「キリストの愛」を語ってきた。

献金だけで40年以上続く番組でもあり、80年代90年代には、KZOOの人気アナウンサーとして活躍した北村美餘子さんが『心に光を』のMC伝道を務めた。現在は、あの美声を聞けばすぐわかる、小椋カリン弘恵アナウンサーと、松本智子アナウンサーが担当している。

3月26日には、マキキ聖城キリスト教会で『心に光を・支援者大会』が開かれ、100人以上が集い、賛美やゴスペルフラ、スペシャルトークなどで支援の輪を深めた。

今回、3人ものアナウンサーが揃ったのも珍しいとのことで、司会の浴本薫アナ(カリヒ・ユニオン教会所属)とカリンアナ、松本アナで、「今日は顔出しトークですね」と笑いを誘いながら、牧師さんの素顔、エピソードなどを紹介した。

また連合を代表してメッセージをした関真土牧師は、下記のように語った。「担当牧師もアナウンサーの方も40余年の中で代々変わってきましたが、私たちにはただ一つ、一貫して伝えたいメッセージがあります。それは「イエス・キリストはあなたの光です」ということです。悩み、苦しみの中にいる人、寂しさや不安を抱えている人、ラジオのマイクの向こうに、待っている人が必ずいる。救われて欲しい人がいる。その方の心に光を届けたいのです。ご一緒にキリストの光の中を歩みましょう。どうかこれからも末長くこのミニストーリーをご支援ください」

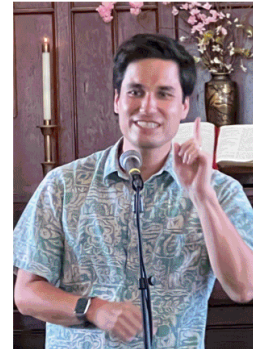
(取材・文 奥山夏実)



カフルイ・ユニオン教会
根本康司牧師



パールシティ・ファーストバプ
テスト教会 石渡敬子牧師



カリヒ・ユニオン教会
ジョン・バロウ牧師



セラプレイズセンター
中村裕二牧師



マキキ聖城キリスト教会
藤浪義孝牧師



インターナショナルジャパニ
ズキリスト教会 冬木友博牧師



オリベット・バプテスト教会
渡辺牧人牧師



ホノルルキリスト教会
関真土牧師



向かって左から、KZOO浴本アナ、カリンアナ、松本アナ

